

「のら猫(飼い主のいない猫)」のことを一緒に考え
人も動物も安心して暮らせる町にしましょう♪

参加費
無料



のら猫問題
を一緒に考えよう



動物福祉
ボランティア
講座
【Part2】



学び、考え、できることをみつけましょう♪

猫の特性&避妊去勢の
大切さを知る

のら猫を増やさないため
にできることを考えよう

のら猫を地域で
見守る活動を知ろう

日時

10月4日(土) 10:00~12:00 (受付 9:30~)

会場

コスモスプラザ生涯学習館2階
会議室1.2.3 (筑前町篠隈373番地)

講師

福岡県動物愛護推進員
松田 真由美さん

『地域猫サポート大刀洗・つなぐ』(ボランティア団体)の運営スタッフとして、大刀洗町を中心に近隣地区(筑前町等)で啓発活動をはじめ、地域猫活動等行政と協働の取り組みをしています。毎月、大刀洗町で保護猫の譲渡会を開催しています。

定員

30人

対象

町内在住または勤務者
町内での活動ができる人

申込

右記のQRコード→
または、電話・メール
申込締切：9月30日(火)



お問合せ
お申込み先

筑前町ボランティアセンター(筑前町社会福祉協議会)
筑前町篠隈373番地コスモスプラザ福祉館 TEL：0946-42-4555
メール：chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp (担当：林・平田)

地域の課題を一緒に考え、できることを

はじめてみませんか

今年度も「筑前町ボランティア部」の活動が始まりました！

小中学生を対象に昨年度からスタートした「筑前町ボランティア部」が7月から始まりました。63人の部員が、これから地域のボランティア活動を通して、学び、考え、人と出会い、さまざまな経験をしていきます。

第1回目の定例活動では、ボランティア部の活動紹介や、ボランティア学習、そして、グループ内でお互いを知り合うワークを行いました。

学校や学年が異なる部員が顔を合わせ最初は緊張した表情でしたが、お互いを知ることや会話が弾み、和やかな雰囲気になりました。その後は、これから「やってみたい」活動や興味・関心がある活動を話し合い、全員で共有をしました。

ボランティア部は、ボランティア依頼の活動だけではなく、自分たちが考え、「やってみたい」活動が実現できるように進めていきます。



【筑前町ボランティア部の目的】

- 地域を知り、だれもが安心して暮らせることを目指した活動を自分からすすんでやってみよう。
- ボランティア活動への興味や関心を持つきっかけにしよう。
- 身近にある地域の課題に気づき、解決に向けて考え、協力し合おう。
- 相手への理解や多様性を認め合い、人とのつながりの大切さを学ぼう。



学 び

夏休み期間に「手話体験講座（3日間）」を実施し、延べ23人が受講しました。講師は、聴覚障害者福祉部会と筑前手話の会が担当し、挨拶、自己紹介、基本的な日常会話などを学びました。受講した部員は、「手話は言語であること」や聴覚障がい者への理解を深めました。

学びから感じたこと

- 保育園の頃に手話をしていた、もう一度学びたかったので参加した。新しい手話を覚えていくのが楽しかった。（小学6年生）
- 去年も学び楽しく、学んだ手話で会話ができうれしかった。（中学1年生）
- 大人になった時に役に立つと思ったことと、何より楽しい。指文字しりとりも楽しかった。（小学5年生）
- 手話に興味があった。少しの動作で意味が変わるので難しかった。でも、講師の方が丁寧に教えてくれて、しっかり覚えることができた。（中学1年生）
- 以前習った手話を思い出してできるようになったかった。手話でコミュニケーションができて良かった。（中学3年生）

令和7年度 手話体験講座



活動

ちくぜん子ども食堂「ほっぺ」

運営サポート活動

7月30日(水)と8月6日(水)に開催された子ども食堂の準備から、受付、配膳、片付けなどの運営サポートを行いました。部員から、「おいしそうに笑顔で食べている姿を見てうれしかった。」「自分たちができることがあり良かった。」「みんなで一緒に食べている姿はいいなと思った。」など、子ども食堂の良さを活動の中で感じていました。



活動

学童保育所での

レクリエーション手伝い活動

8月1日(金)学童保育所での出前講座のサポートを行いました。子どもたちが安全に楽しくできるように見守りや声掛けをし、笑顔がいつぱいの時間になりました。



特集2

福岡県立朝倉光陽高校のボランティア活動への取り組み

きっかけや活動後の思い

- 一緒にレクリエーションをして喜んでいたのがうれしかった。
- 子ども食堂があることを知り、どんな感じなのか知りたいと思い参加した。
- 農業関連の仕事に進むため子ども食堂の活動に興味を持った。
- 福祉分野に進みたいと考え、その前に経験したいと思い活動に参加した。
- 子どもたちに関わり、たくさんの笑顔を見ることができ、自分もうれしくなった。とても楽しい時間だった!

先生の思い

朝倉光陽高校では、地域共創を目指して、全校生徒を対象にボランティア活動を推奨しています。この夏も多くの生徒がボランティア活動に取り組みました。「遊んでいる時に笑ってくれて嬉しかった」などの感想が聞かれ“相手を意識し行動すること”の大切さを学ばせていただいています。学校では経験できない貴重な機会をありがとうございます。高校生のパワーが地域活性化の一助になると幸いです。

彌田 幸枝先生



ボランティアセンターに朝倉光陽高校が団体登録し、町内在住や近隣在住の高校生ボランティアが、興味や関心がある活動に積極的に参加しています。参加した高校生ボランティアや担当の先生の思いを伺いました。

2016年、国の特別天然記念物・絶滅危惧種に指定されているコウノトリが初めて九州に飛来したのは筑前町でした。

その時創設された当会は、コウノトリの保護・増殖を目指して活動してもうすぐ10年になります。

町民のみなさんの感動と癒し、子どもたちにとって希少な教材となるコウノトリが飛来定着してくれるためには、美しく豊かな自然環境や安心安全な子育ての風土が欠かせません。

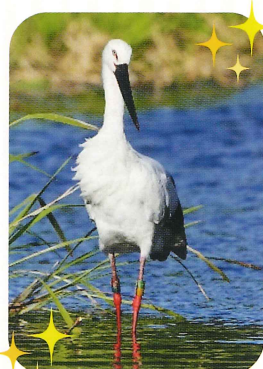
私たちは皆様とコウノトリが幸せに共生できる町づくりとして、生活文化・教育・環境・経済の4つの側面での活動を推進しています。

当会のジュニア部メンバーの小学生・中学生も、講演活動・生きもの調査・環境美化活動などで多彩に活躍中です。

福岡朝倉コウノトリの会
活動報告 YouTube



<https://www.youtube.com/watch?v=6f1PCM3GXYQ>



募集

「災害ボランティア講座」

～災害のことを知る、
考える、そして“人”とつながろう～

防災への意識向上に向けて私たちが「できる」身近な取り組みを知ることや、災害ボランティア活動の役割や心構えを学び、もしもに備えた準備と「つながり」を作しましょう。

日程 9月27日(土) 10:00～12:00

場所 コスモスプラザ生涯学習館2階
会議室1.2.3

定員 40人

講師 一般社団法人 Camp
(被災地支援ボランティア団体)

申込締切 9月24日(水)

※要申込

申込QRコード



講座レポート

7月11日(金)にボランティア活動に興味や関心がある人を対象に、『ボランティア入門&体験講座』を実施しました。ボランティアの言葉の語源や考え方、現在町内で活動しているボランティア活動などを伝えました。受講者から、「ボランティア活動のことをたくさん知って、やってみたいと思った。」や、「高齢者に関わるボランティア活動に興味がある。」「自分にどんなことができるか考える機会になった。」など、前向きな思いが聞けました。



筑前町ボランティアセンター

〒838-0215 福岡県朝倉郡筑前町篠隈373
コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555

FAX:0946-42-5941

ホームページアドレス <https://chikuzen-shakyo.or.jp>

メールアドレス chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

